

競技注意事項

1. 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会の申し合わせ事項によって行う。

2. 本大会のすべての投てき競技は、補助陸上競技場で行う。

3. 練習について

(1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で日程に従い実施すること。

(2) 補助陸上競技場では投てき競技が実施されているため、プログラム記載の練習時間、補助競技場会場図を確認し実施すること。

4. 招集について

(1) 招集場所はメイン競技場第1ゲート付近(100m スタート外側)に設ける。投てき競技は補助陸上競技場の競技場で行う。

(2) 招集時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

競技者は招集開始時刻(点呼開始時刻)に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際係員にナンバーカード・氏名・校名・スパイクピン・商標の点検を受けること。招集完了時刻に競技者係の指示により移動する。なお、点呼後は待機場所を離れないこと。

トラック種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)	フィールド種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)
予選	競技開始 25分前	競技開始 15分前	跳躍 投てき	競技開始 40分前	競技開始 30分前
決勝			棒高跳	競技開始 70分前	競技開始 60分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、欠場とみなし出場を認めない。

(4) 2種目を同時に兼ねる競技者は、多種目同時出場届を競技者係(招集所)に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。

(5) 入退場時の移動は、競技役員の指示に従い規律ある行動をとること。

(6) リレーのオーダーは各ラウンド招集完了時刻1時間前までに、オーダー用紙を競技者係(招集所)に提出すること。

(7) 欠場する場合は、招集開始時刻までに競技者係(招集所)に欠場届を提出すること。

*オーダー用紙・欠場届・多種目同時出場届は招集所に準備している。

5. スタートについて

(1) スターターの合図は英語で行う。TR16.8に基づき、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

6. 競技・競技用具について

(1) アスリートビブスは各種目とも、胸・背部両面に付けること。ただし、跳躍競技については背(胸)部に1枚でもよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を右腰に付けること。ただし、4×100mRの第1、第2、第3走者と4×400mRの第1走者は腰ナンバー標識を使用しない。また、4×400mRにおいては、第2、第3、第4走者は右腰に腰ナンバー標識を使用する。

(3) 4×100mRの第2、第3、第4走者は、主催者が用意するマーカーを1カ所使用することができる。マーカーは競技者係が招集所で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。

(4) 男子5000m、女子3000m、男女5000mWは別アスリートビブスを使用する。別アスリートビブスは主催者が用意する。選手は、招集時に自分のアスリートビブスを持参し、競技者係から別アスリートビブスを受け取ること。

(5) トラック競技における走路順およびフィールド種目の試技順はプログラム記載順序による。ただし、決勝の組み合わせ及びレーン順の決定は主催者で行う。

(6) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

(7) 競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものを使用することができる。また、投てき用具についても検査の上、個人所有のものを使用を認める。なお、認められた投てき用具は、出場者全員が使用できるものとする。投てき用具の検査は、競技開始70分前から50分前までに、補助陸上競技場入口付近で行う。なお、検査後は競技終了時まで主催者で預かる。

(8) ビデオ、音楽プレーヤー、携帯電話もしくは類似の機器等の競技場内への持ち込みを禁止する。

- (9) 危害防止のため、セパレートレーンのトラック競技においては、フィニッシュライン通過後は、自己レーン(曲線)に沿って走ること。また、投てき競技においては、審判員の指示以外に勝手に練習しないこと。
- (10) スパイクシューズのピンは、全天候舗装用で 11 本以内とし、長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12 mm 以下とする。
- WRk 申請競技会につき、WA 競技用靴規定を適用し、適用除外とはしない。ただし、投てき、競歩、リレーについては適用除外とする。
 - フィールド競技用靴ノールの最大の厚さは 20mm、三段跳は 25mm とする。
 - フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを越えてはならない。
(参考) WA が承認した競技用靴リストの URL
<https://www.worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>
 - 審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
 - 競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。
 - 大会記録以上の記録が出た場合は、競技終了後に検査を行うことがある。
- (11) 跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりとする。(天候などにより変更することがある。)

種目	練習	1	2	3	4	5	以後 1 人になるまで
走高跳(男)	1m70 1m90	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	3cm ずつ
走高跳(女)	1m40 1m55	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	3cm ずつ
棒高跳(男)	3m20 4m00 4m40	3m30	3m50	3m70	3m80	3m90	10cm ずつ
棒高跳(女)	2m00 2m50 3m00	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	10cm ずつ

※1位決定におけるバーの上げ下げは次のとおりとする。 走高跳 2cm 棒高跳 5cm

※三段跳の踏切版は、男子11m、女子9mに設置する。

7. イエローカード(以下YC)について

- (1) WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- (2) 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

8. その他

- (1) 大会運営上に支障、問題が生じた場合は五県委員で協議して解決にあたる。発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内(同一日に次のラウンドが行われる場合には、アナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて、審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1 万円)を添え、担当総務員を通じて、 Jury に申し出ること。
- (2) 各種目の表彰は、第3位まで行う。成績発表後直ちに表彰控え場所に待機し、表彰を受けること。服装は競技服装(ユニフォーム)ではなく、学校ジャージ等で行う。賞状は8位まで用意されるので4位以下の入賞者は1階エントランスホールにて各自受領のこと。
- (3) メインスタンドでの集団応援はしないこと。また、競技の進行にも配慮しながら応援すること。
- (4) 部旗・横断幕等はメインスタンド、バックスタンドの最上段部に設置すること。
- (5) 医務員は、競技場のメインスタンド医務室に待機している。競技中の急病・事故について応急処置は行うが、それ以外の責任は負わない。
- (6) 記録の証明を希望する競技者は、大会本部総務員に300円を添えて申し込むこと。
- (7) 貴重品の管理は、各学校、各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (8) 弁当の引換は1階エントランスホールで行う(11時~14時)。
- (9) 更衣室は利用してよいが、ロッカーは使用禁止とする。
- (10) ゴミは各学校、各自で持ち帰ること。
- (11) 補助陸上競技場で実施される競技の応援については所定の場所のみとする。